

「信号・情報通信技術に関する技術交流会」を開催しました

2019年8月23日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、「信号・情報通信技術に関する技術交流会」を下記により開催いたしましたのでお知らせします。

鉄道総研では各技術分野について、実用的な成果をパネルや製品の展示を用いて紹介することを目的とするとともに、参加者の皆様からご意見を伺い今後のマーケティングの参考とするため各技術分野における交流会を開催しております。このたび信号・情報通信技術分野に関して、去る2019年8月5日に日本工業倶楽部会館において「信号・情報通信技術に関する技術交流会」を開催し、鉄道事業者を中心に85社、190名の方々にご参加いただきました。参加者のみなさまには展示パネルやシステムの画面、開発品の実物などをご覧いただきながら、説明者等との間で技術的な討議や意見交換等が行われ、今後の展開、機械学習の活用、列車制御への無線の活用などに関して活発な意見交換が行われました。

【今回のポイント】

鉄道総研では鉄道固有の技術とAIなどのICTを融合させて将来のシステムチェンジを目指す、鉄道のデジタル化に向けた研究開発に取り組んでいます。今回は新しい通信技術である90GHzミリ波や深層学習を用いた画像処理技術を鉄道に応用した最近の研究開発成果、および既に実用化されている信号・情報技術に関する成果を中心に10件の展示を行いました。

【信号・情報通信技術に関する技術交流会】

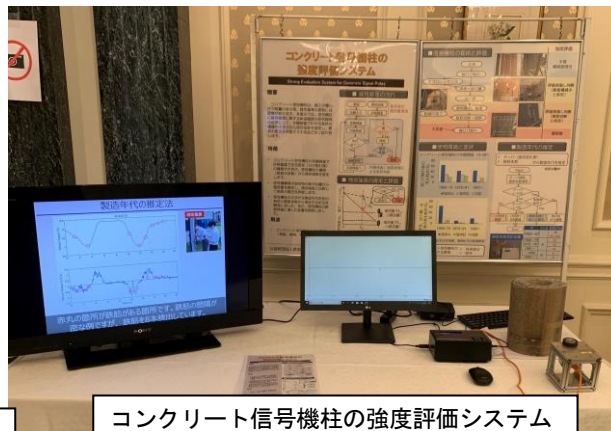
1. 開催日時：2019年8月5日(月) 12時00分から17時30分
2. 場 所：日本工業倶楽部会館 中ホール （東京都千代田区丸の内）
3. 展示件名：
 - (1) 軌道回路を不要とした新しい地方交通線向け列車制御システム
 - (2) コンクリート信号機柱の強度評価システム
 - (3) フィードバック型列車接近警報システム
 - (4) 慣性センサと速発を併用した滑走・空転及び車上位検知装置
 - (5) 90GHz帯ミリ波による対列車通信システム
 - (6) 無線データ伝送回線シミュレーターRADTRACE
 - (7) 省エネ施策評価のための列車運行電力シミュレーター
 - (8) イールドマネジメントのための割引商品発売数計画システム
 - (9) 深層学習を用いたトンネルひび割れ検出システム
 - (10) 車載型建築限界支障判定装置



90GHz帯ミリ波による対列車通信システム



慣性センサと速発を併用した滑走・空転及び車上位位置検知装置



コンクリート信号機柱の強度評価システム



展示会場